



ら び っ く La・BOOK

2月号

No.32

堀金図書館企画展

地震と地形

昨年11月下旬の断層のずれによる震度6弱の地震発生（長野県神城断層地震）では、白馬村・小谷村などが甚大な被害にあいました。これを受けて、地質・災害等関係のある書籍の紹介を行いました。長野県の地形や断層、防災にも役立つ地震の知識をわかりやすく伝えた本を集めた『地震と地形』の企画展と銘打ちました。



企画コーナーがオープンした初日に、さっそく書物を熱心にめくり、借りていく方がいたり、写真集（長野県西部地震）を真剣に見ていたりしていました。関心の高いその時の企画には、大きな反響があります。

新年になって、今は、「世界の民話と伝説」のコーナーがあります。コメントに「世界で語り伝えられてきた伝説、信州に伝わる民話の本を集めました。寒い時は部屋で暖まりながら物語を楽しみましょう」とあります。

本に、いっぱい親しんでいただきたい“ねがい”をくみ取っていただければ幸いです。

大人の方にもぜひ、「こどもとしよかん」に入り、自分が昔読んだ絵本に出会ってほしいです。そして私と同じ気持ちを抱いてくれる人が一人でもいたらうれしいです。



豊科図書館

奮闘! 調べもの日記(レファレンス)

開業100年 豊科駅 について



大正4年(1915)1月6日、信濃鉄道により北松本～豊科間が開通しました。開通の日には沿線に群衆が押し寄せ、列車を止めることを余儀なくさせたほどでした。当時の豊科駅付近は一面の田、桑畑、松林でしたが、その後道路も開通し駅を中心に発展していきました。

大正10年には269人だった1日平均乗客数も平成24年には、1,046人となっています。

駅前の「二宮金次郎」の像は、終戦直前に第4代駅長の故五十嵐金次郎が同名を誇りとして建てたものといわれています。



<関係資料>

- 『信州の駅物語』 降幡利治/郷土出版社 1983
- 『大糸線の80年』 江尻 実他/郷土出版社 1996
- 『南安曇郡誌 第3巻下』 南安曇郡誌改訂編纂会編 1971
- 『新田区誌』 新田区誌編集委員会編 1987
- 『豊科町誌 近現代編』 豊科町誌編纂委員会/豊科町誌刊行会 1997
- 『安曇野市の統計 2013』 安曇野市企画財政部企画政策課/安曇野市 2014

私と図書館

信州大学 丸山大智

私は、今回大学のインターンシップの単位認定制度を利用し、5日間中央図書館において実習を受けました。返本作業の際に、「こどもとしよかん」に初めて入りました。その時に、

偶然私が子どもの時に両親に読んでもらった絵本が目に入りました。ずっと遠い昔の記憶のはずですが、表紙を見ただけでも、そのストーリーの全体が頭に浮かびました。この場にいると幼い頃を思い出し、とても穏やかな気持ちになりました。また、大学生ながら絵本を再び読みたいと思いました。

私が子どもの頃と比べれば、スマートフォンが普及するなど、今の子ども達の生活環境は大きく変わりつつあると聞いたことがあります。しかし絵本の内容は、今も昔も全く変わらないで、どんなに時代が変わっても、次の展開を想像しながら絵本を1ページずつめくることで得られる感動や喜びを今の子ども達と共有することができるとは、とても嬉しいことだと感じました。

1月貸出ランキング

一般書

- 1 虚ろな十字架／東野圭吾
- 〃 土漠の花／月村了衛
- 3 アイネクライネナハトムジーク／伊坂幸太郎
- 4 奇跡の人／原田マハ
- 〃 フォルトゥナの瞳／百田尚樹
- 〃 物語のおわり／湊かなえ
- 7 家族シアター／辻村深月
- 〃 自覚／今野 敏
- 〃 マスカレード・イブ／東野圭吾
- 〃 キャプテンサンダーボルト／安部知重

児童書

- 1 バムとケロのおかいもの／島田ゆか
- 2 バムとケロのさむいあさ／島田ゆか
- 3 かいけつゾロリのママだーいすき／原ゆたか
- 4 うちにかえったガラゴ／島田ゆか
- 〃 かいけつゾロリのめいたんていとうじょう／原ゆたか

AV資料

- 1 崖の上のポニョ／宮崎 駿監督
- 〃 コクリコ坂から／宮崎吾朗監督
- 3 トムとジェリー 2／小坂知裕
- 4 カーズ／ジョン・ラセター監督
- 〃 紅の豚／宮崎 駿監督
- 〃 早春の信濃路と東京貨物ターミナル駅／東京ケーブルネットワーク
- 〃 ヒューゴの不思議な発明／マーティン・スコセッシ監督

第152回芥川賞・直木賞決定

芥川賞 小野正嗣さん

「九年前の祈り」(「群像」9月号)

直木賞 西加奈子さん

「サラバ！」(小学館)

図書館では、二人の他の作品も多数用意していますのでこの機会にどうぞ！

編集・発行・お問い合わせ



- 中央図書館 ☎84-0111
- 豊科図書館 ☎71-4022
- 三郷図書館 ☎76-3078
- 堀金図書館 ☎72-5796
- 明科図書館 ☎62-1122

図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます)
<http://www.city.azumino.nagano.jp/tosho/index.htm>

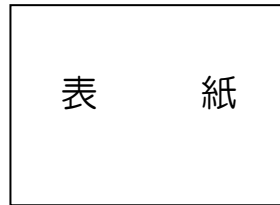
明科図書館から

本のソムリエ(職員)おすすめ本

一般書

『ウミウシ 不思議ないきもの』

写真・文 今本 淳／二見書房



ウミウシ、という生き物をご存知でしょうか。その色鮮やかさ、美しさから、「海の宝石」とも呼ばれています。

奄美大島で撮影・観察したウミウシ 101 種を解説文とカラー写真で紹介した写真集です。

多様な色・形・大きさのウミウシの魅力が楽しみ、世の中には不思議な生き物がいることに驚かされる一冊です。

児童書

『東京駅をつくった男』

日本の近代建築を切り開いた辰野金吾』

大塚 菜生／くもん出版



開業から 100 周年を迎えた東京駅。記念イベントやグッズが話題になっています。赤れんがに白い花崗岩の帯が入った壁、南北 2 つの八角形ドーム、あの美しい駅舎を設計したのが、辰野金吾です。

武士の時代の終わりを体験した彼が、明治初めに建築学を学び、日本の近代建築の創成期を支える存在となるまでの、努力と苦悩を知ることができる伝記です。

堀金図書館休館

のお知らせ

年 1 回の特別整理期間と休館日のため、2月16日(月)～23日(月)の8日間は休館しますので、ご理解とご協力をお願いします。



※編集後記※

今年の「歌会始の儀」のお題は、「本」。最年少入賞者は、東京女学館中学3年生の小林理央さん。≪この本に全てがまつてるわけぢやないだから私が続きを生きたらと詠んだ。≫と詠んだ。小林さんは、有川浩さんの小説『図書館戦争』シリーズを読み終えてしまった時の気持ちを吐き出したという。